

厚生労働大臣表彰を受賞しました

このたび当生協連は「消費生活協同組合に対する厚生労働大臣表彰」を受賞し、10月23日(月)東京の「ベルサール虎ノ門」にて行われた表彰式に山野内雅志会長理事が出席しました。

この表彰は、昭和23(1948)年に制定された消費生活協同組合法を記念して5年ごとに行われるもので、健全な事業運営を行い、他の模範と認められる組合・連合会に対し、その功績を称えるために実施されています。今回は法定75周年を記念して、31の組合・連合会と29名の役員が表彰されました。

当生協連の功績として◆昭和37年の設立から61年の長きにわたり秋田県の生協運動の先頭となって会員の発展・向上を推進している◆会員の組合員に対する学習会や生協大会を積極的に実施し、時事社会問題やSDGs推進をテーマとした講演等により組合員の生活・文化の向上を推進している◆貧困対策や教育支援に関する取り組みを継続して行うことで、SDGsの達成に向けた取り組みの推進に大きく貢献していることが認められ、受賞の運びとなりました。



表彰状を手にする山野内雅志会長理事

<山野内雅志会長理事のコメント>

この度は大変栄誉ある賞を賜り、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。受賞にあたりまして、これまで秋田県生協連を支えていただいた会員生協の組合員および役職員のみなさま、そして生協運動の発展と県内生協合併に多大なご尽力をいただきました大川功元会長理事はじめ、歴代の役職員のみなさまに深く感謝申し上げます。

会長理事に就任し、まだ数週間足らずで甚だ未熟ではございますが、今後はこの受賞に恥じることはないよう、全力を尽くして参る所存でございます。

どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

第39回秋田県生協大会を開催しました



10月19日(木)秋田市のホテルメトロポリタン秋田を本会場に県内各地の全5会場をオンラインで結びハイブリッド形式で開催し、組合員・役職員82名が参加しました。

ご来賓に日本生協連北海道・東北地連事務局長の丸谷靖朋様を迎え、秋田県立大学システム科学技術学部教授 杉本尚哉(まさや)氏の講演「環境問題と秋田の洋上風力発電開発について」を行いました。温室効果ガスの増加などによる地球温暖化が私たちの暮らしに及ぼす影響や実態について具体的な数値を示し説明いただくとともに、洋上風力発電を理解したうえで再生可能エネルギー導入の必要性を認識することなど解説いただき、環境問題への理解を深めました。



秋田県立大学
杉本尚哉教授



ヒロシマ参加報告
仙北佳世子さんと畑本美智代さん



日本生協連 北海道・東北
地連 丸谷靖朋事務局長



本会場の様子

今年8月に開催された2023ピースアクション in ヒロシマに参加したコープあきた組合員の仙北佳世子さん、畑本美智代さん、息子さんで高校1年生の永遠君の3名による参加報告も行いました。現地を訪れて被爆の実相に触れ、平和への想いをそれぞれ伝えてくださいました。

大会決議は組合員活動協議会委員の石井みき子さんが読み上げ◆安心して生活できる災害対策や社会保障制度の構築を求めると◆核兵器のない平和で安心して暮らせる世界を目指すこと◆食の安全、平和活動、社会貢献の取り組みを進め、持続可能な社会の実現を目指すこと を満場一致で採択しました。